

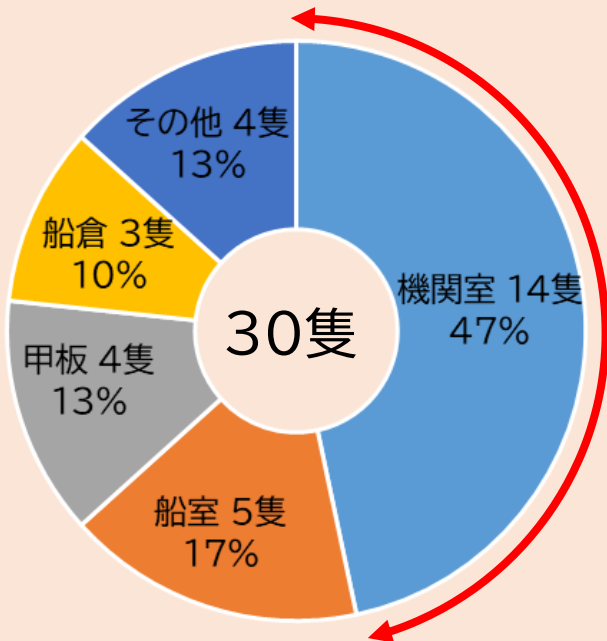
火災から漁船を守るため

出港する前にもう一度確認



火災船の出火場所 (H23~R2)
※他船からの延焼は除く

半数近くは、機関室から出火しています！



乱雑した配線状況 (船橋内の状況)



出火の原因は、
あらゆるところに
潜んでいます！



排気ガス漏れによる保護材の焼付き(機関室内)

火災事故事例・発火の原因

排気ガス漏れが原因による火災

いか一本釣り漁船(一名乗り・5ト未満)が出港後、普段どおりの主機回転数・速力で航行中、異臭がしたため不審に思い、機関室を確認したところ、黒煙が噴出するとともに過給機付近に火炎を認めた。

船長は、消火を試みたが火勢が衰えず断念し、海保に救助を要請した。

船長は、付近の僚船に救助され
漁船は沈没した。



火災が起きた原因は？



船長は、エンジンの排気集合管から過給機へ繋ぐ接続部の隙間から高温の排気ガスが漏れていたことを知っていたものの、修理をするのが億劫であったため長年放置したまま運航していたところ、漏れた高温の排気ガスが付近の配線に吹き付けられ、溶け出し発火したものの。

再発防止対策



- ★排気ガスが漏れているのを発見した際は、**早急に修理**をしましょう！
- ★**配線の点検**や**機関室の清掃**を心がけましょう！
- ★**整備事業者**による**定期点検整備**を受けましょう！
- ★無人機関室内には、**自動拡散型消火器**を設置することを推奨します！

離船前にストーブは消した！？消し忘れによる火災が多発！

今年は、例年に比べ気温が低い日が続いています。石油ストーブやオイルヒーター等の消し忘れによる火災が発生していますので、その場を離れる時は、**必ず電源を切り**、また**衣類など燃えやすい物の近くで使用しないよう**にしましょう。



出火元のストーブ

衝突海難による死亡事故が

発生しています。

見張り不十分が原因による衝突海難(行方不明者13名)

漁船(15名乗り・138ト)の船首部と貨物船(14名乗り・1989ト)の右舷側中央部が衝突し、貨物船が沈没した。貨物船の乗船者14名のうち1名が救助されたものの、13名が行方不明となり、未だ見つかっていません。

衝突が起きた原因は？

漁船の操船者は、事故発生の約5分前に貨物船が自船前方を右から左に横切るのを確認し、衝突の恐れがなくなったと判断した。その後、魚群探知機の映像に気をとられ、貨物船が針路を変えて接近してきたことに気がつかないまま衝突してしまった。



再発防止対策

- ★航海中は、常に継続した見張りを実施しましょう！
- ★船舶間のコミュニケーションを積極的に取り、避航動作等に関する意思疎通を図りましょう！
- ★他船が接近するときや船が多い海域等の場合は、自動操舵から**手動操舵に切り替え**、安全運航に努めましょう！
- ★**簡易型AIS**設置による船舶の動静把握も有効です！

令和3年 東北地方 漁船事故発生状況 (2月末現在)

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
0隻(0隻)	0隻(0隻)	1隻(0隻)	0隻(0隻)	0隻(0隻)	1隻(0隻)

()内は2月の隻数

死者数：0人

船長の皆さん！

帰りたいのに帰れない...



5月～8月は

霧海難

が多発します



八戸港内の濃霧の状況

春から夏にかけて、沖合いで発生した霧が沿岸に押し寄せます。
霧の中での航行は、自船の位置や他船の動静が分からなくなり衝突や乗揚げの危険性が高まります。

霧海難防止のための注意事項



◎気象情報の入手と早めの帰港

◎霧発生時の出港の自粛

航海中、万が一、霧が発生してしまったら！

◎見張りの強化と安全な速力

118番



◎無理に動かず、危険を感じたら海保に通報

海の安全情報（ライブカメラの活用）



ライブカメラの設置場所



灯台等に設置したライブカメラで、**海辺の状況**をチェックすることができます。是非！ご活用してください！
※東北は8カ所



二次元コードはこちら

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索